

物的環境に関連するインシデント・アクシデント事例

事例番号541

発生場所	階段	精神・意識障害の有無	リスク
発生場所（その他）		不明	C. 不適切な環境設定・維持管理不足によるリスク
関連したもの	点滴スタンド、手すり、段差	発生内容の分類 転倒	

発生内容

外来階段での転倒

概要

患者は大腸内視鏡検査終了し鎮静剤投与後の安静解除となり、外来2階から階段を使って外来1階会計へ向かった。階段の最後の1段で踏み外し転倒し、近くにいた看護師が対応した。整形外科受診し左足関節外顆骨折と診断され入院治療となった。階段は下から2段目と3段目の間が踊り場のように少し広がっており、方向転換できるように幅が90度まで広がっている。以前から最後の階段を踏み外して転倒する事例が複数回発生しており、踊り場に上から見えるように「足もと注意」と表示していたが、表示後も踏み外す事例が発生していた。

要因

- ・ 外来2階から階段を下りてくると、2段目と3段目の間が踊り場のように広がっているため、階段が終わったように感じる。
- ・ 上から見ると、最後の2段は段差がないように見える。
- ・ 階段の下から1段目と2段目には、手すりがない。

対策

- ・ 1段目と2段目用に手すりを取り付ける。

参照

【対策後】

※「足元注意」の表示と90度曲がったところの手すりは以前からあったものです。

